

エキブ・ド・シネマの新企画!

第1回 世界名画シリーズ特別上映会



すべてのベスト・ワンを独占!／

●芸術祭外国劇映画コンクール金賞 ●キネマ旬報ベスト・テン第一位 ●ヴェネチア映画祭主演女優賞(マリア・シェル) ●国際映画批評家連盟賞他

初公開(一九五六年十月十八日)
当時日本のマスコミは言い知れぬ感動に包まれて、「居酒屋」をうけ入れた……
●映画が表現できる極限、鬼気迫るものがあつた(「朝日新聞」井沢淳)
●生々しい雰囲気、盛り上げられた生活の苦渋と喜びがはげしく胸を打ち、内臓にこたえる一作であつた(「映画評論」清岡卓行)
●あちらにぶつかつたり、こちらによろめいたりしながら、宿命をたどって行くジェルベーズという女性の悲劇。カメラはその彼女を明確で鋭利で非情な写実のカメラアイで追つてゆく(「スクリーン」双葉十三郎)
●貧民階級の醜悪、女性の無自覚、飲酒悪、本能悪など、人間のもつ七つの原罪が渦を巻き、画面をとうと凄じく流れてゆく。人間のごみ留めである。わびしい娼婦になつた母親を見捨て、悪の巷に姿を消してゆく幼女ナナの後姿のラスト・シーンは、クレマンの意図を言いつくす(「キネマ旬報」菅見恒夫)
●可愛らしいマリア・シェルと一緒に、泣き、笑い、そして叫んでいるわたしでした(東劇プログラム・若尾文子)
●ジェルベーズがすべての悩みを解脱して歓喜に身をまかせる瞬間、その表情にふきこぼれる笑いの純粹さに、涙ぐましいほどの共感と情愛の爆発を感じる(「スクリーン」萩昌弘)
●この女性の眼のくらむばかりの演技だけでも、一見の価値がありました(「世界」中村光夫)
(敬称略、抜粋一部中略、カナ使いを改めさせていただきます)

居酒屋

GERVAISE

東宝東和提供/東和プロモーション配給



ごあいさつ

(エキブ・ド・シネマ)

川喜多かしこ
高野悦子

六年前にスタートしたエキブ・ド・シネマは、これまでに三七本の日本未封切長編劇映画を紹介してまいりました。ルノワール、フェリーニ、ベルイマン、ヴィスコンティのような巨匠の作品は勿論のこと、インド、エジプト、ブルガリア、コート・ダイボワールなど、日本にあまり知られていない国々の傑作の上映に、私共は特に力を注ぎました。

しかし、こうした埋もれた名画の上映のほかに、昔、封切られた名作の再上映を行ないたいといつかねてからの念願がございました。既に日本で公開されたとはいえ、二十年、三十年前であれば若い方たちにとっては未公開作品も同じこと、その素晴らしさは書物で読むだけではわかりません。また、よほどの商業的大作でない限り、再上映は望めません。

そこで、こうした昔の傑作、力作を系統的に取り上げる新シリーズ(「世界名画シリーズ特別上映会」)をスタートさせることにいたしました。第一回に取り上げますルネ・クレマンの「居酒屋」は、ご説明するまでもない世界映画史に残る名作でございます。どうか、この新シリーズもみなさまの暖かいご理解とご支援のもと、大きく育つてまいりますよう、心よりお願い申し上げます。

洋画ファンに素晴らしいプレゼント!世界映画史上に輝く永遠の名作を新シリーズで上映!

第1回 世界名画シリーズ特別上映会

監督ルネ・クレマン
原作エミール・ゾラ
マリア・シエル
フランソワ・ペリエ
ジュジー・ドレール
1956年・フランス映画

東宝東和提供
東和プロ配給

居酒屋 GERVAISE



「禁じられた遊び」の名匠ルネ・クレマン監督が、エミール・ゾラの原作「居酒屋」をもとに3年間じっくり構想を練って製作した傑作である。この原作の女主人公「ジェルベューズ」はフランス文学のなかにも数知れず登場する薄幸な女性像のなかでもこれほど哀れな女性は見あたらないといわれるほどである。勝気で、身を粉にくだいて働くことをいとわず、一時は無一物から立派な洗濯屋の店をもつまでにいたりながら、なまけ者で無頼な二人の男の食いものにされておちぶれてゆく。ジャン・オーランシュとピエール・ポストが脚色、撮影はロベール・ジュイヤール、音楽はジョルジュ・オーリック。ジェルベューズに扮したマリア・シエルは1956年ヴェネチア映画祭で主演女優賞を受賞した。

ナポレオン3世治下1850年台の混乱した経済状況のもと、極度の貧困に追いつめられたパリの労働者の生態をゾラは彼独特の筆致で克明に描いたが、クレマンは映画のもつリアリズムを駆使して19世紀のパリの庶民階級の風俗と雰囲気をも黒白画面で再現、完璧な映画化に成功した。

この映画は1956年の芸術祭外国劇映画コンクール金賞、キネマ旬報ベスト・テン1位他その年のあらゆるベスト・ワンを独占した。(上映時間・1時間58分)

4月21日(土)より上映開始

岩波神保町ビル

9F岩波シネサロン

特別鑑賞券800円発売中(当日1000円のところ)

上映時間 平日 2:00 7:00 5月18日(金)
土日祝 1:00 4:00 夜の部休映

神保町交差点/地下鉄(都営三田線)神保町/国電水道橋・下車/TEL(262)5252